

長引く“せき”は赤信号！～結核の予防～

文=上西 由加子(保健師)

結核

は明治時代から昭和20年代までは「死に至る国民病」と恐れられ、

昭和30年代までは死亡原因の第1位となっていました。今では医療や生活水準の向上により薬を飲めば完治できる時代になりましたが、平成20年度のデータでは1日に全国で68人の患者が新規に発生。そのうち6人が命を落としていく重大な感染症です。

どのように感染するの？

結核は結核菌によって主に肺炎を起こす病気です。結核が進行した人がせきやくしゃみをする時、結核菌を含む小さなしぶきが飛び散り、この菌を吸い込むことによって感染します。ただし、通常は免疫力により結核菌の増殖を抑えこみますので、結核に感染しても必ずしも発病するわけではありません。

結核に感染してしまったら？

人うつす恐れがある場合は入院が必要となりますが、すべての人が入院するわけではありません。また、昔と違ってさまざまな抗結核薬が開発されていますので、それらを組み合わせることで内服すること約6カ月から1年ほどで完治することができるようになりました。

感染・発症を防ぐには？

結核の症状は風邪に非常に似ているため、気づかないうちに悪化して他人に感染したり、手遅れになることが少なくありません。感染・発症を防ぐには早期発見や予防接種、体力の保持が重要です。



65歳以上の方を対象に結核検診を実施

結核が発症する危険性の高い65歳以上を対象に結核検診を実施します。自身の体調管理はもちろん、大切な家族への感染拡大防止のためにもぜひ受診しましょう。料金は無料です。

実施日 **10月8日(金)**

内容 胸部エックス線撮影 (約2～3分程度)
※病院や他の健診でレントゲン撮影をされた方は必要ありません。

時間	場所
午前 9:00～ 9:25	中央老人寿の家
午前 9:40～ 10:05	朝日集会所
午前 10:20～ 10:45	上築老人の家
午前 11:00～ 11:25	築別集会所
午前 11:40～ 正午	川北老人福祉センター
午後 1:10～ 1:55	すこやか健康センター
午後 2:05～ 2:35	役場前駐車場
午後 2:50～ 3:20	特別養護老人ホーム

※申込みは不要。都合のよい場所で受診してください。

▼早期発見のために

定期的な検診を心がけましょう。(右記参照) また、次のような症状が続いた場合は早めに医療機関を受診しましょう。

- ・ 2週間以上せきが続く・風邪がなかなか治らず、風邪薬も効かない・長引く体のだるさ・微熱が続く・たん・血たん・胸痛・寝汗・体重減少

▼予防接種

結核に対して免疫をつけるのがBCGワクチンです。完全に感染を防げるわけではありませんが、たとえ感染

しても発病率を下げ、重症化を防ぎます。羽幌町では生後6カ月までは無料でワクチン接種できますので、お子さんがいる場合は忘れずに接種しましょう。

▼結核菌を寄せ付けない体づくり

空気感染する結核菌は、室内で飛び散れば、すべてをシャットアウトすることは不可能です。菌を吸い込んだとしても抵抗できるような、日頃から健康的な食事と十分な睡眠で疲労をためない体づくりを心がけましょう。